

令和3年度桐生厚生総合病院新改革プラン継続計画点検・評価書

プラン対象期間：令和3年度から令和5年度

令和5年3月

評価基準表

評価		
A	計画を上回った	達成率100%以上の実績となった。
B	概ね計画どおり	達成率90%以上100%未満の実績となった。
C	計画を下回った	達成率80以上90%未満の実績となった。
D	計画を大幅に下回った	達成率80%未満の実績となった。

桐生厚生総合病院新改革プラン継続計画実績概要(令和3年度)

■ 医療機能等指標に係る数値

1) 医療機能・医療品質に係るもの	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度				自己評価
	実績	実績	実績	実績	計画	実績	比較 (実績-計画)	達成率	
救急患者数 (人)	11,353	10,305	10,116	8,548	8,719	7,967	△ 752.0	91.4%	B
手術件数 (件)	2,761	2,478	2,307	2,198	2,264	2,366	102	104.5%	A
紹介率 (%)	68.3	70.7	73.9	75.6	77.0	74.5	△ 2.5	96.8%	B
逆紹介率 (%)	59.7	71.2	83.5	77.2	79.0	75.2	△ 3.8	95.2%	B
2) その他	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度				自己評価
	実績	実績	実績	実績	計画	実績	比較 (実績-計画)	達成率	
患者満足度 (%)	88.7	86.2	89.7	98.4	80.0	98.5	18.5	123.1%	A

<点検・評価>

- ・ 救急患者数
 - ・ 手術件数
 - ・ 紹介率
 - ・ 逆紹介率
 - ・ 患者満足度
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度比△581人、計画より△752人減少。
- 新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、外科系医師の増加や術前遺伝子検査を導入し計画値を102件増加。
- 新型コロナウイルスによる受診控えの影響で紹介患者数が計画より減少したが、地域医療支援病院として必要な紹介率・逆紹介率は維持。
- 令和2年度より統計内容を再検討し変更した。令和3年度の実績は令和2年度とほぼ同じ評価であった。

3) 収入確保に係るもの	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度				自己評価
	実績	実績	実績	実績	計画	実績	比較 (実績-計画)	達成率	
1日平均入院患者数 (人)	316	314	295	290	300	291	△ 9.0	97.0%	B
1日平均外来患者数 (人)	747	705	672	637	645	672	27.0	104.2%	A
病床利用率 (%)	67.1	66.7	62.6	66.9	69.2	67.9	△ 1.3	98.1%	B

<点検・評価>

- ・1日平均入院患者数 前年実績とほぼ同等となり、計画に対しては9人減少の結果となった。
- ・1日平均外来患者数 外科系医師が増えたことで、外科系患者が増加した。
- ・病床利用率 達成率98.1%で概ね計画どおり。引き続きベッドコントロール等を行い効率化を図る。

ω

4) 経営の安定性に係るもの	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度				自己評価
	実績	実績	実績	実績	計画	実績	比較 (実績-計画)	達成率	
常勤医師数 (人)	69	63	60	64	61	61	0	100.0%	A
臨床研修医数 (人)	8	7	5	4	9	9	0	100.0%	A
100床当たり職員数 (人)	136	136	132	144	138	138	0	100.0%	A
現預金保有残高 (千円)	105,265	696,003	925,712	1,308,430	1,398,701	3,297,775	1,899,074	235.8%	A

<点検・評価>

- ・常勤医師数 計画は達成したが、今後も常勤医師確保を継続。
- ・臨床研修医数 前年度比5人増加で計画どおりとなった。
- ・100床当たり職員数 職員数の適正化への取り組みにより計画を達成。
- ・現金保有残高 4月支払いの病院情報システム分(約9億)が含まれるが、新型コロナウイルス感染症関連補助金等により計画を上回った。

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度 区分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	3年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(実績)
収 入	1. 医 業 収 益 a	9,230	9,338	8,675	8,942	9,109	9,314
	(1) 料 金 収 入	8,830	8,772	8,234	8,499	8,669	8,868
	(2) そ の 他	400	566	441	443	440	446
	うち他会計負担金	93	278	190	193	190	190
	2. 医 業 外 収 益	743	1,191	1,084	2,358	1,046	2,115
	(1) 他会計負担金・補助金	253	699	596	602	616	616
	(2) 国 (県) 補 助 金	130	140	139	1,458	139	1,222
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	310	294	291	252	245	234
	(4) そ の 他	50	58	58	46	46	43
	経 常 収 益 (A)	9,973	10,529	9,759	11,300	10,155	11,429
支 出	1. 医 業 費 用 b	10,269	10,287	9,978	10,108	10,093	10,118
	(1) 職 員 給 与 費 c	5,699	5,660	5,562	5,687	5,581	5,481
	(2) 材 料 費	2,055	2,018	1,956	2,043	2,103	2,243
	(3) 経 費	1,843	1,961	1,849	1,852	1,837	1,866
	(4) 減 価 償 却 費	604	601	581	493	533	458
	(5) そ の 他	68	47	30	33	39	70
	2. 医 業 外 費 用	357	326	328	371	371	458
	(1) 支 払 利 息	58	29	9	1	1	1
	(2) そ の 他	299	297	319	370	370	457
	経 常 費 用 (B)	10,626	10,613	10,306	10,479	10,464	10,576
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 653	▲ 84	▲ 547	821	▲ 309	853	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	73	390	783	228	0	44
	2. 特 別 損 失 (E)	0	1	0	191	0	0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	73	389	783	37	0	44
純 損 益 (C)+(F)	▲ 580	305	236	858	▲ 309	897	
不 良 債 務	累 積 欠 損 金 (G)	4,371	4,066	3,830	2,972	3,281	2,075
	流 動 資 産 (ア)	1,651	2,280	2,420	3,507	2,996	5,286
	流 動 負 債 (イ)	2,118	2,029	1,611	1,775	1,700	2,482
	うち一時借入金						
	翌年度繰越財源(ウ)						
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)						
差引不良債務(オ)	467	▲ 251	▲ 809	▲ 1,732	▲ 1,296	▲ 2,804	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	93.9	99.2	94.7	107.8	97.1	108.1	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	5.1	▲ 2.7	▲ 9.3	▲ 19.4	▲ 14.2	▲ 30.1	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	89.9	90.8	86.9	88.5	90.3	92.1	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	61.7	60.6	64.1	63.6	61.3	58.8	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	467	▲ 251	▲ 809	▲ 1,732	▲ 1,296	▲ 3,174	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	5.1	▲ 2.7	▲ 9.3	▲ 19.4	▲ 14.2	▲ 34.1	
病 床 利 用 率	67.9	67.4	63.5	66.9	69.2	67.9	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度					
		29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)	3年度 (実績)
収 入	1. 企 業 債	402	245	208	189	1,128	1,063
	2. 他 会 計 出 資 金						
	3. 他 会 計 負 担 金	603	519	446	215	218	219
	4. 他 会 計 借 入 金						
	5. 他 会 計 補 助 金						
	6. 国 (県) 補 助 金	12	4	5	94		59
	7. そ の 他		12	3	5		
	収 入 計 (a)	1,017	780	662	503	1,346	1,341
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入分 (c)						
純計(a)-(b)+(c) (A)	1,017	780	662	503	1,346	1,341	
支 出	1. 建 設 改 良 費	432	292	240	301	1,148	1,026
	2. 企 業 債 償 還 金	1,002	900	781	384	382	382
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金						
	4. そ の 他						
支 出 計 (B)	1,434	1,192	1,021	685	1,530	1,408	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	417	412	359	182	184	67	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	415	411	356	181	184	67
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額						
	3. 繰 越 工 事 資 金						
	4. そ の 他	2	1	3	1		
計 (D)	417	412	359	182	184	67	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (予定)	3年度 (実績)
収 益 的 収 支	(0) 346	(0) 977	(0) 786	(0) 795	(0) 806	(0) 806
資 本 的 収 支	(0) 603	(0) 519	(0) 446	(0) 215	(0) 218	(0) 218
合 計	(0) 949	(0) 1,496	(0) 1,232	(0) 1,010	(0) 1,024	(0) 1,024

(注)

- 1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。